

対タジキスタン草の根・人間の安全保障無償資金協力 シャフリトウーズ行政郡中央病院外科医療機材整備計画供与式報告

平成28年4月13日、「シャフリトウーズ行政郡中央病院外科医療機材整備計画」の供与式がシャフリトウーズ行政郡で行われました。同行政郡は首都のドウシャンベ市から南へ約3時間半の場所に位置します。供与式には、シャフリトウーズ副行政郡長、中央病院長、その他大勢の病院関係者が参席し、日本の支援に対して大きな感謝が述べられました。

シャフリトウーズ行政郡中央病院は、同行政郡内の全公的医療施設の母体となる総合医療機関で、内科、外科、輸血科、緊急医療科などを含む13の科で構成されており、年間約1万人の患者が訪れる重要性の高い病院です。しかし、多くの医療機材がソ連時代の1970年代に整備されたものであり、老朽化は著しいものでした。

今般本計画実施に伴い、外科手術用機材を中心に、手術用吸引装置、胃十二指腸鏡、大腸内視鏡など計11種類の医療機材が刷新され、同病院ではより質の高い医療が提供できるようになりました。



蜂蜜とパンによるタジキスタンの伝統的な歓迎を受ける田村書記官。



テープカットの様子。



日本の支援を示す日章旗プレートは、病院入口のすぐ上に掲示されていました。



病院長から本案件により整備された医療機材の説明を受ける様子。